

開かれた扉をくぐって

主任司祭 吉池 好高

降誕祭と新年のお慶びを申し上げます。降誕節の喜びのうちに迎える新年が恵み豊かなものとなりますように。

この一年をフランシスコ教皇様の呼びかけに応えて、神さまのいつくしみに信頼してともに生きてまいりましょう。どのようなことがあっても、神さまのいつくしみを信じることができるなら、わたしたちは生きてゆくことができます。いのちの与え主である神さまは、ご自分が創造されたいのちが生きることが願って、常に新たないのちを注いでくださいます。カトリック信者であるわたしたちはミサに招かれ、神さまのいつくしみに抱かれて、御子イエスのいのちをいただいています。この恵みを深く味わうことができるなら、わたしたちはどのようなことがあっても、神さまのわたしたちを包んでくださるいつくしみを信じることができます。「わたしのもとに来る者をわたしは決して追い出さない」。ここにわたしたちのために神さまのいつくしみの泉が湧き出ているのです。

聖年の扉が開かれている今年、わたしたちの心のバリアーを取り除いて、全ての人を受け入れ、ともにいのちの水に潤されましょう。汲めども尽きないいのちの泉が、わたしたちの教会の懐にみなぎり溢れているのです。このいのちの泉に一人でも多くの人が近づくことができますように。神さまのいつくしみを、わたしたちだけで独り占めしてしまうことがありませんように。

神さまのいつくしみによって招き入れられ、神さまの懐の中で出会わせていただいたわたしたちお互い同士が、わたしたちの主イエス・キリストがお命じになっておられるように、互いに仕え合い、イエスが愛してくださったように互いに愛し合う者となることができますように。降誕祭の喜びに包まれて、希望のうちに新年を迎えましょう。

神さまの祝福がありますように。